

# 東由利村報

No. 52 36・2・15

発行所 秋田県東由利村役場  
印刷所 株式会社 本間印刷所

【2月12日部落長会議】  
予算編成に地域の声を

村では新年度予算編成にあたりできるだけ地域の要望事項をもとに話し合った。これらの中でとくに道路橋梁の改善を望む声が多く、また消防関係、部落電話、造林などの産業関係のものが共通した問題で、その他火葬場設置、農休日の設定、社会教育活動の充実などの要望もあつた。

紙面案内  
2面 國勢調査のグラフは語る  
3面 ひろば・玉米農協青年部の土壤検定・新入学児童  
4面 ブラジル移住者からの便り・老方分館の展示会

おりから新年度予算の編成期にあたり、村では二月六日村議会協議会、同十二日部落長会議を開いてそれぞれ要望事項を聞いたが、これに先だって村長は去る二月一日全県町村長会において小畠県知事が経済問題を中心に語った県政方針を、大要次のように報告した。

当面している県政の課題はいか

にして「先進地との所得格差の是正」をはかつてまいるかといふことで、これはとりもなおさず日本経済の高い成長率にかかわらず「先進地域と後進地域」「農業と他産業」あるいは「大企業と中小企業」間との拡がりつつある所得水準の格差を、どのようにしてちぢめるかという

本県における推移は昭和三十年までは国の経済成長率より上廻っていたが、以降は両者立場を入れかえ、ここ二、三年の動きからみて数年ならずして全国水準の六〇パーセント程度に転落するのではないかと憂慮されています。

## 成人記念論文 村長賞に阿部くん

成人式の記念行事として今年も「村を発展させるために」のテーマにより論文募集を行つた。応募数は十五編でうち次の入選作を決定して式当日表彰された

▽村長賞・阿部愈（横渡）▽議会議長賞・長谷山博昭（老方）  
▽教育委員長賞・阿部力（十二ノ前）▽公民館長賞・小松敏子（八日町）



私たちちは今日の感激を胸に秘め、明日からの生活に悔なく努力することをかたく決心しております。

× ×  
× 移り變りのはげしい世に生をうけて二十年、その間幾多の思い出が胸の中を去来します。戦争のおそろしさ、そして敗戦のみじめさを幼な心にしつかりやきつけられております。  
× ×  
× 目まぐるしく変転する国際情

【写真説明】（上）成人代表 小松敏子さんの宣誓（下）成人まつりに賛助出演したリュウこうかいのコーラス

一月十五日の成人式で百十名の若人はこのような誓いをして第二の人生の門出をした。

## 新しい誓いで新しい門出（成人式）

勢の中であつて自ら果すべき役割りを自覚し、新しい村づくり、新しい時代の創造者として努力します。



おるのであります。  
この新しい傾向に対応して本県の発展をはかるためには長期の見とおしの上に根本的対策をたてることが必要で、昨年から県長期経済構想の策定にとりかかり、すでに現況分析を完了、本年度中には一応の成案が得られるといったいました。  
これは今後の県のあるべき姿を想定し、これに到達するための施策の方向、とくに農業体質改善と第二次産業の発展を基幹とするものですが、この長期構想に関連して最も重要な問題として検討されなければならぬものは農業基本問題であると申されました。  
これまでもなく本県産業に占める農業のウエイトは高く、過去五ヵ年連續豊作にもかかわらず農業所得は他産業との間に著しい格差を生じ、加えて貿易の自由化などの動向もからんで前途の楽観はゆるされません。  
県としてもこれに即応して「農林漁業問題懇談会」を設置して基本問題の解明と施策の方向を検討し、さらに各市町村から提出された農業経済の現状と問題点、ならびに将来の基本対策を総合的に推進していきたいといつておりました。  
地域開発の気運もとみに高まり「基本都市計画」とか「工業地方分散」の問題も国でとり上



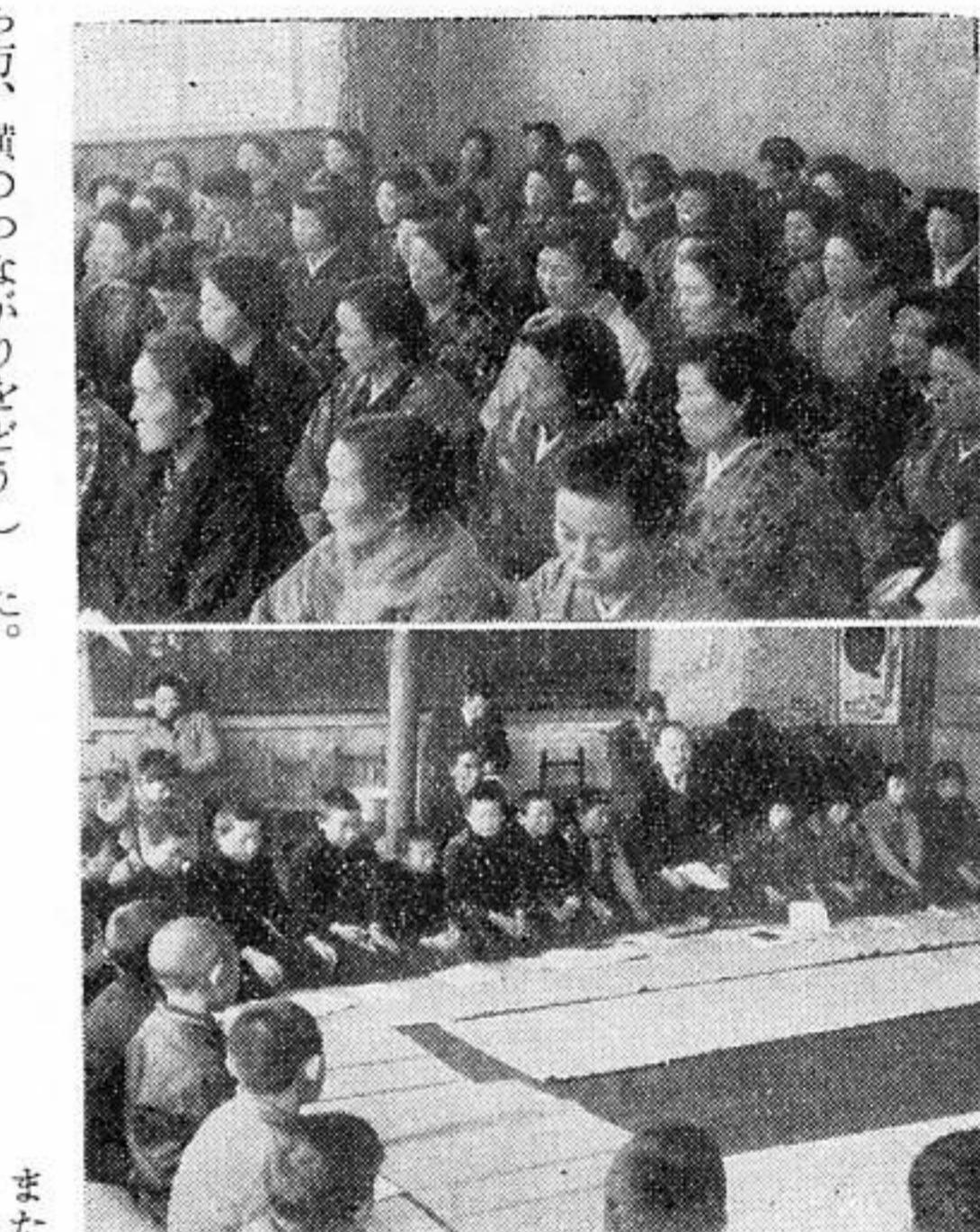
## お互いに長所を学ぶ

若妻グループの  
リーダー懇談会

本村社会教育活動のスケール  
ペーク(新しい波)、それは  
若妻グループの相次ぐ誕生で  
ある。

村公民館ではこのよだなグル  
ープを育成し、あわせて横の  
つながりをもつていくための  
意見を聞き、また情報交換を行  
つてお互いにグループ運営の  
長所を学びあおうとリーダ  
ーによる懇談会を、一月二十  
六日役場で開催した。

これには各グループの  
リーダーと婦人会、農  
協婦人部の団体役員、  
公民館職員など約八十  
名が出席、スライド學  
習を行った後、木村県社教主  
事の指導助言をうけながら結  
成までのいきさつ、運営組織  
活動内容などお互いに情報を  
交換しあい、さらに家族関係  
や部落との協力関係のあり方  
効果的な運営方法と活動のも



### 卒直に悩みも語り

老方小・子ども会  
指導者研修会

ち方、横のつながりをどうし  
てもつていつたらよいか、な  
どといった問題を中心に共同  
研究した。

子を生む道具、労力を提供す  
る機械とまでいわれ、家庭に  
あつても低い地位に追われて  
いたのは昔の話で、今ではリ  
良き嫁・良き妻・良き母々と  
して教養をつみ、生活をたか  
めていこうというひたむきな  
もり上りを言葉のハシハシに  
みせて一日を有意義に過ごし

て行つた土壌の断面調査から引  
続くもので玉米農協管内の施行  
地一三八点にわたり、より正確  
な結果をえるために二層までの  
土壌成分を検定した。

これから農業に必要な科学性  
を身につけるとともに、さらに  
細部施行地にわたつても自分た  
ちだけで土壌調査ができるよう  
に下地をつくろうと、部員が自  
主的にこれをとり上げたもので  
これらの分析結果が総合されて  
対策のメドがつくのは今年の秋  
に見込まれているといふ。

**【写真は玉米農協青年部員によ  
る土壌の簡易検定作業】**



## 玉米農協青年部

### 自分たちで土壌の簡易検定

て行つた土壌の断面調査から引  
続くもので玉米農協管内の施行  
地一三八点にわたり、より正確  
な結果をえるために二層までの  
土壌成分を検定した。

これから農業に必要な科学性  
を身につけるとともに、さらに  
細部施行地にわたつても自分た  
ちだけで土壌調査ができるよう  
に下地をつくろうと、部員が自  
主的にこれをとり上げたもので  
これらの分析結果が総合されて  
対策のメドがつくのは今年の秋  
に見込まれているといふ。

**【写真は玉米農協青年部員によ  
る土壌の簡易検定作業】**

卒業期にあたり進学、就職、技  
能習得などで資金にお困りの方  
お困りの方へ

修学などの資金で

軒並みのつらゝの部落をバス喘ぐ  
寒い夜はるかに風の音となる  
窓枠に干す綿糸や寒日和  
音たえし滝百丈のつらゝかな  
寒日にかざす幼児の掌の血潮

青国芳翠英滴  
与正あき吉

【写真説明】(上)リ  
ーダー懇談会に出席し  
て共同研究する若妻た  
ち(下)老方小学校地  
区の子ども会指導者研  
修会。

に意見交換を行つた。  
はじめにそれぞれの会  
の活動状況を発表し  
い、みんなが出席する  
ための方法やみ  
んなに喜ばれる  
事業にはどんな  
ものがあるか、  
ひ

また会費の問題など中  
心にして話しあわれ、中には  
せつかくいろいろ行事を行つ  
てもお母さんたちが見にきて  
くれない。家を貸してくれな  
いので会場に困る、など卒直  
な悩みも語られた。

とくべつに村長も出席してリ  
純真な子どもたちの行動は、  
大人のくらしや考えも変える  
ほど影響力をもつてゐる。み  
んなで会を大切に育て、そこ  
から自分のくらし方を学んで  
下さい」と激励した。

は次の制度があるので希望者は  
役場厚生係まで申出られること

▽支渡資金 一五〇〇〇円

▽技能修得資金(月)一五〇〇円

▽修学資金(月)高校一〇〇〇円

大学三〇〇〇円

▽修業資金(月)一五〇〇円

2月8日 酪青連の定期総会

村酪農青年連盟の第二回定期総  
会は2月8日、役場で開催した  
案件は三十五年度の事業報告と  
決算の承認、ならびに三十六年  
度の事業計画と予算審議の二件

で原案を可決した。

なお新年度予算総額は八万二千  
円で、ほかに北海道野幌酪農高  
校の分校を本村に設置するよう

強力に働きかけることを決議し  
た。

新入学児童二一七人

今春、小学校に入学する児童数  
は全村で二一七人(前年二七五  
人)、学校別数は次のとおり

▽老方四九▽藏二三▽法内一六  
▽宿三五▽玉米四九▽住吉三八  
▽袖山七

生産と直結した出品多い

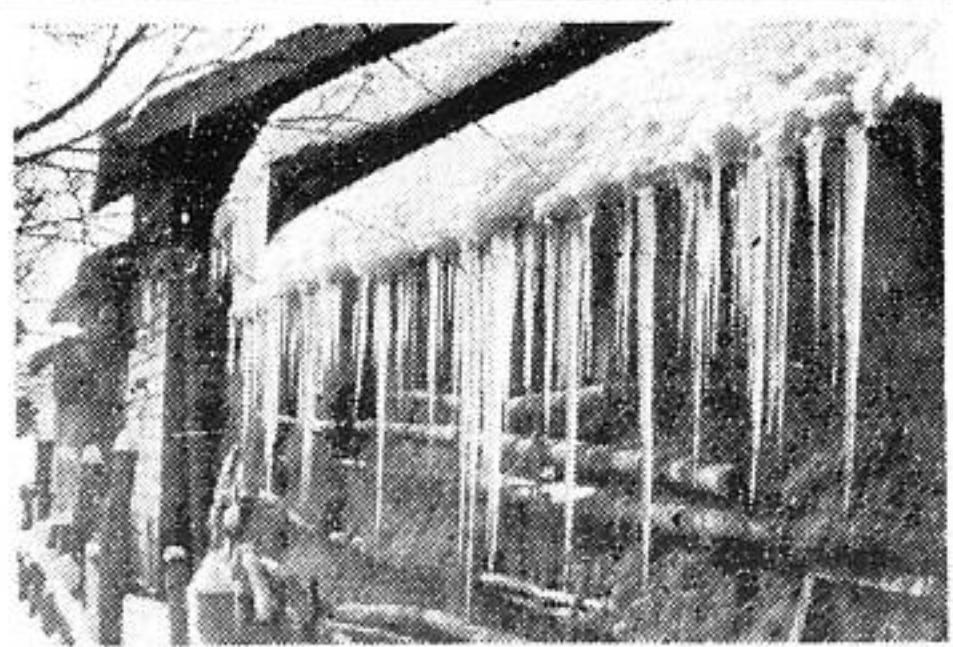
老方分館の展示会

公民館老方分館主催の  
第十回生産品展示会は  
二月十一、十二の両日

老方小学校で開催した  
出品点数は農產品、わ  
ら工品、食料加工品、  
裁ほう手芸品など四百  
点にものぼり、いずれ  
も粒ぞろいで技術の向  
上のあとがうかがわれ  
たが、とくに農產品部  
門ではすぐれた貯蔵野  
菜が、またわら工品は  
俵、繩など生産と直結  
したものが多く出品さ  
れたことはよい傾向で  
ある。

これらの展示のほかに農協青年部の手による酪農展、「公民館のあり方」のテーマによる公開座談会ももたれた。

展示会の上位入賞は次のとおり  
▽特等・ワングロムシロ||佐藤  
恵、カンラン||金子四郎  
▽一等・アブラ味噌||志村恵子  
大豆||畠山スミ、毛ラ||長谷山  
伝次郎、繩||佐藤光男、白菜||  
長谷山サダヨ、荷繩||小野次郎  
▽△僕あみリレー競技一等・下通  
東部(畠山キミ、小野ミエ、小  
松キヨ)



## つらゝがいつばい

軒ばにつらゝがいっぱい  
たまさかの晴れた日は  
もう春を思わせる陽射しがいっぱい

ン）は和歌山県出身の東八重彦氏で六十三才になられる人格、人徳のりっぱな方であります。私たちの農場は五百ヘクタールのコーヒーランド五千株、雇用

# 国民年金 高年者の 三月末

国民年金へ任意加入で  
きる人々を対象に、目  
下加入案内をすすめる運動が行  
われている。

高年者の任意加入  
三月末日でしめ切

バトロンの家で自家発電があるので電灯もついており、それに水のよいところで助かります。いまもつとも暑い時で、日本におけるときの三倍ほど水を飲んで働いていますが何んでもありません。

家族四十人 ブラジル人  
などあります。当農場はサン  
パウロ州から南東に進んでバラ  
ナ州に入り、トラックで五時間  
位で着きました。便利のよい方  
でしよう。

普久造さんからテキが便り  
着し、元気に働いていると  
を知らせてきた。

ルはよいところ!!

未就学幼児で三月末日がしめ切  
の人たち四世帯が新しい天地  
で南米ブラジルへ旅立つたが  
阿部久造さん（写真）から全

3月1日から  
固定資産課税台帳の記入が開始され、これまでに登録されていなかった所有者（納稅義務者）と現在の価格で評価された資産を記入したもので、今後三年間の課税の基礎となる。なおこれに登録されている価格などに不服がある場合は縦覧開始の日から三十日までに同評価委員会に対し

20日まで  
台帳を縦覧……  
三月一日から二十日  
間、役場で固定資産  
の課税台帳が一般に  
縦覧させる。

十人余りおります。近くの街は十キロ位で四方にあり、何も自由ありません。

なお、それ以後の加入は認められないことになるのでご注意を

佐藤浜子・八島敬子・小野隆子  
(以上住吉小)佐藤イチ(玉米中)  
忘れずに伐採届を  
すぎ、松類四十五年生未満の皆  
伐、間伐予定は二月中に、四十  
五年生以上及び雜木六年生以上  
の伐採は六十日前に森林組合に  
届出されること。

能力検定試験で次のとおり合格者がでた。これで第一回目より通算して二級の合格者は二名、三級は四十九名になる。

▽二級小松恵子(下郷中) ▽三級小松昭子・小野トヨ子・小松益雄(以上老方小) 阿部重雄・伊藤昭作・阿部幸夫(以上藏小)

四　五年ここでがんばります

で働き 日曜はまた自分の仕事ですからまつたくヒマがありません。なかなか大変ですが、私はやりぬくことができると思つております。

此と思われる) たるうてす。仕事を二、三カ月休んできているので最初はこたえました。

に来て「よかつた」とつくづく思つております。

十人余りおります。近くの街は十キロ位で四方にあり、何も自由ありません。